

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成23年7月14日

施設名	高知県立歴史民俗資料館	所管課	文化・国際課
-----	-------------	-----	--------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人高知県文化財団	指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日
施設所在地	南国市岡豊町八幡1088-1		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県の歴史、考古及び民俗(以下「歴史民俗等」という。)に関する資料の収集、保管及び展示 ・歴史民俗等に関する専門的な調査研究 ・歴史民俗等に関する講演会、講習会、研究会等の教育普及活動 ・高知県における文化財の保存、活用の推進 ・上記のほか、歴史民俗資料館の設置の目的を達成するために必要な業務 		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p><建物> 延床面積4527.47㎡ RC造地上3階建 <土地> 124,520㎡ <主要施設> 常設展示室、企画展示室、体験学習室、AVホール、多目的室、収蔵庫、燻蒸室、研究室、会議室、資料室など <開館時間> 午前9時～午後5時 <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> 常設展 一般450円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 企画展示室23,470円(1日) AVホール14,990円</p>		
職員体制	特別職非常勤: 1人 常勤職員: 8人 契約職員: 9人 合計: 18人		

※職員数は平成22年4月1日現在

2 収支の状況

単位:千円

		平成21年度(決算)	平成22年度(決算)	平成23年度(予算)
収入	県支出金	161,648	185,694	127,792
	事業収入	7,991	32,263	7,700
	その他		13,819	12,381
	収入計	169,639	231,776	147,873
支出	事業費	28,871	72,011	32,496
	管理運営費	138,055	146,258	115,377
	(うち人件費)	(91,270)	(93,621)	(63,053)
	その他	2,713	13,507	0
	支出計	169,639	231,776	147,873

3 利用状況

		平成21年度(実績)	平成22年度(実績)	前年度比
①年間利用者数(単位:人)	常設展	3,283人	9,995人	+ 6,712人
	企画展	19,892人	60,240人	+ 40,348人
	合計	23,175人	70,235人	+ 47,060人
	<利用実績> 平成22年4月10日にリニューアルオープン(2階「長宗我部展示室」の設置、3階総合展示室の改装、バリアフリー化改修)し、展示も充実させた。 企画展は、大河ドラマ特別展「龍馬伝」や「幕末土佐庶民生活誌」など、幕末をテーマとしたものを中心に開催した。 この結果、平成22年度の観覧者は大幅な伸びを示した。			

4-1 平成22年度業務評価(指定時の県の要求水準に対する項目による)

項 目		評価	事業評価委員会意見
①指定管理期間における要求水準1「資料センターとしての機能を果たし歴史文化を未来に伝える」			
高知県の歴史や文化に関する膨大な資料を適正に管理し、また調査研究の成果を公開することでこれまでの歴史の積み重ねのうえに現在の高知県があることを今に伝え、また未来へと引き継ぐ。		A	・少ない人員で頑張っている。
高知県の歴史、考古、民俗の各分野の資料等を適切に管理保管し、次世代に引き継ぐ	収蔵機能の維持に努める。特に地震から資料を守るため収蔵庫の棚の地震対策を進める	B	
	資料収集は長期保存を念頭に置き、本県の歴史文化のうえで後世に伝えることが必要なものを対象とし、適切な保管に努める	A	
	収蔵庫の状況や埋蔵文化財センターとの機能分担の観点から、収集及び保管のあり方について検討する	A	
	収蔵資料のデータ化を進めるとともに、資料館にどのような資料があるのか県民に分かりやすく紹介する	A	・データベース化の準備は進んでいる。今後の公開がまたれる。
	貴重な資料を保管することができる収蔵機能とノウハウにより、資料館の資料の他、他の文化施設等が所管する県有資料の保管も行うなど、県全体の資料センターの役割を担う	A	
収蔵資料の調査研究を進め、その成果を常設展示及び企画展示等の方法で広く県民に公開する	より個性ある資料館を目指すため、資料収集や調査研究のテーマに例えば長宗我部氏や四国遍路、近世庶民氏など特色を打ち出す	A	・リニューアルによって長宗我部を前面に出し特色ある館になっている。 ・3階展示室の展示の仕方に努力が見られる。
	高知県唯一の重要文化財の「公開承認施設」であることから、県外博物館との連携も行いながら魅力ある企画展の開催に努める	A	
上記の要求水準以外の取組		A	・次世代学芸員の育成が課題。
②指定管理期間における要求水準2「高知県の歴史や文化を学ぶ拠点となる」			
展示や教育普及事業を充実させ、県民が、自ら生まれ育った高知県の歴史や文化を知るための拠点となる。展示や教育普及事業を充実させ、県民が、自ら生まれ育った高知県の歴史や文化を知るための拠点となる。		A	・リニューアルで成功。
展示施設、展示内容の両面でリニューアルに向けた検討と実施を行う		A	
子どもを対象とする出前授業や資料館での校外学習に計画的に取り組む	県民が郷土の歴史や文化に親しむことのできる講座等の開催	A	
	資料解説や関連図書等の充実を図るなどで、レファレンス機能を高める	B	・展示室トークの回数を増やす。
	遠隔地からでもインターネット等により資料館を訪れ学習できるような取組を進める	B	・完全デジタル化がまたれる。
長宗我部氏関係の資料収集や研究、その展示等において全国に誇れる資料館となる		A	・常設展のリニューアルも奏功。
岡豊山を含めて知的好奇心を高めることができるゾーンの形成を目指すなど、地域との連携を進める		A	
上記の要求水準以外の取組		A	・ミュージアムネットワーク、食とのコラボなど面白い。

4-2 平成22年度業務評価(効率的な運営、サービスの向上、施設、設備の管理に関する評価)

<p>適正な管理運営の確保</p>	<p>社会的責任 ・法令等の遵守 ・個人情報、情報公開の状況</p> <p>建物や設備の管理 ・点検・修繕の実績 ・業務委託の状況</p> <p>危機管理 ・風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策 ・マニュアルの作成 ・職員研修</p>	<p>B</p>	<p>・駐車場対策。 ・施設・設備の補修等に取り組む。</p>
<p>利用者サービスの維持向上</p>	<p>サービス向上への取組 ・自己点検・評価の状況 ・事故、クレームへの対応 ・職員の専門性の向上 ・研修の実施状況 ・その他サービス向上の取組</p>	<p>A</p>	<p>・学芸員の人的配置の充実が望まれる。</p>
<p>利用実績</p>	<p>利用実績の状況 ・利用状況の分析</p>	<p>A</p>	<p>・龍馬伝以降の利用者が放送以前よりかなり増加している。</p>
<p>収支の状況</p>	<p>経営努力 ・収入増加の取組 ・経費削減の取組</p>	<p>A</p>	
<p>総合評価</p>		<p>A</p>	<p>・「龍馬伝」効果もあるが、実績を大幅に伸ばした。 ・リニューアル企画、様々な努力の跡が見られる。 ・積極的な取り組みが成果にあらわれている。 ・小中学生の自由研究(土佐の戦国武将等の研究)を一層推進する施策を充実してほしい。 ・創意工夫を加えることにより、大きな鉱脈をつかんだように思える。館と史跡と地域が一体となった動きを期待する。</p>

【評価の目安】

- A: 仕様書(要求水準)の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書(要求水準)の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書(要求水準)の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの